

避難場所の見直しは考えているのか

答弁：
地域住民の声を伺いながら行う



伊藤 泰樹議員

ここを
ききました

- 災害時の情報伝達について
- 自主防災組織の拡充と避難場所について
- 道徳教育の充実事業の成果と課題について
- 全国大会へ挑戦する人や団体の助成、支援について

防災対策について

伊藤 災害時広域で活動している消防団員の情報を活用できないか。

市長 消防団の情報は非常に貴重なものである。正当な活動とした上で、活用できないか検討したい。

伊藤 災害状況の迅速な情報共有と、配信情報への画像添付ができないか。

市長 県道等の管理の情報も含め、県ともしっかりと連携を取りながら、いかに早く正確な情報を出せるのか十分に検討して、次に挙げていく。

伊藤 自主防災組織の重要性をどう認識しているのか。

市長 より安全で、より逃げやすく集まりやすい場所を、組織や地

域の方でまず開設して運営するやり方は、理にかなっている。

伊藤 現在市が指定している118カ所の避難所に対応する自主防災組織の立ち上げはできないか。

市長 自主防災組織は、被害を軽減していくために非常に重要である。全市的に自主防災組織、それと同等の組織の設置が必要であると考えている。

伊藤 指定避難場所の全トイレの洋式化、防災ラジオの配置台数の増、ケーブルテレビの加入などの改善を計画的にできないか。

市長 インフラの整備は、順次進めていく。

市役所内に危機管理室が必要ではないか

答弁：
災害対策本部でとった行動を検証した後、その結果をもとに設置について判断していく



森 和之議員

ここを
ききました

- 他の市には設置されている危機管理室について
- 吸水土のうについて
- 災害時の広報について
- ききょう緑地グラウンドについて
- 復興計画について

ダム防災について

森 高梁市に関係するダムの管理者との協議をいつ、どのように行っていくのか。

市長 9月には中国電力（新成羽川ダム）と高梁市でダム管理に関する説明と協議を行っている。10月にも、ダム施設について研究、勉強会を行った。

高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会で国や県、中国電力、流域に関係する様々な機関と検証し議論していく。

森 7月豪雨の洪水の原因は、ダムの放流によるものではないか。

市長 高梁川水系河川整備基本方針で示された水量には、河本ダムなどの治水ダムは想定されているが、利水ダムの新成羽川ダムは想

定されていない。

ダムのコントロールに問題があったのではないかと指摘は真摯に受け止めるが、高梁川には120の支川があり、ダムの放流イコール全体の水量という訳ではないことは理解いただきたい。

高梁川水系河川整備基本方針の見直しを会議の中で国と県に強く訴えていく。

水源池について

森 被災しなかった水源池も今後の災害に対して安全性に問題はないか検証すべきではないか。

産業経済部長 浸水による被害を受けなかった水源池も点検していく。

ごみ削減のためにリサイクル率のさらなる向上を

答弁：
新たに始めた雑紙収集を周知して、市民の協力をいただき、リサイクル率を向上したい



石井 聡美議員

ここを
ききました

- 防災対策について
- 産業振興について
- 観光振興について
- ごみの削減について

防災カードについて

石井 非常時の情報をまとめ日常的に携帯する防災カードを、新たにホームページや広報誌で配布してはどうか。

総務部長 要支援者の方には救急医療情報キットというものを用意している。今後、総社市の取り組みも参考にしながら検討していきたい。

キャッシュレス決済について

石井 キャッシュレス社会へ対応するため、カード決済手段導入の支援を。

産業経済部長 もう少し国の動向を見ていきたい。時代の流れの中で対応を考えていかななくてはならないと思う。

観光振興について

石井 観光戦略アクションプランは終了したが、今後のために新たな計画が必要では。

産業経済部長 5年間の総括をしたうえで次への方向性を出す。観光を経済につなげていくため、戦略的な観光プロモーション、インバウンドの受け入れ態勢、キャッシュレス化を含めた環境整備、宿泊場所の確保や食の開発などを考えていきたい。

「ゴミのリサイクル」について

石井 高梁市は県内でもリサイクル率が最低レベルだが、どう考えているのか。

市長 今年の8月から高梁市でも雑紙の回収を始めた。まだ浸透していないため、周知していきたい。

高梁川の河川しゅんせつと樹木伐採を早急に実施するよう県に要望を

答弁：
河川の整備については重ねて要望していきたい



三村 靖行議員

ここを
ききました

- 平成30年7月豪雨災害について
- 学童保育について

ダム管理者の責任について

三村 ダム管理者に対し、一定量以上の放流により下流域に被害があった場合は補償金を支払うよう要望してもらえないか。

総務部長 ダム管理の今後の対応は、高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会で協議されるものと考えている。

災害による断水対策について

三村 7月と9月に津川、巨瀬地域で水源池に濁った地下水が入ったために断水した。対策として有漢地域からの受水を行なってはどうか。

市長 有漢地域と津川、巨瀬地域の簡易水道の管路統合は、効果的な対策として対応を考えていきたい。

用瀬橋の復旧について

三村 成羽川に架かる備中町の用瀬橋が流出した。復旧の際には、緊急車両の通行が可能となるよう幅員を拡張できないか。

副市長 用瀬地区には8世帯なので、交通量を考えれば拡張できない。

川面町市場地区の対策について

三村 川面町市場地区の河川しゅんせつと護岸工事、移動式の排水ポンプを常備できないか。

副市長 しゅんせつと護岸整備は実施するように要望していく。可搬ポンプについては災害検証の中で検討していく。